

社会資本総合整備計画(市街地整備)

なかつがわししゃかいしほんそうごうせいびけいかく
中津川市社会資本総合整備計画

ぎふけん なかつがわし
岐阜県 中津川市

令和2年4月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (市街地整備)

計画の名称	中津川市中心市街地の人的交流によるにぎわい再生計画										重点配分対象の該当																										
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)					交付対象	中津川市																														
計画の目標	<p>中心市街地は周遊性が低く人の動きが少なくなっているため、空き店舗が増加し経済活力が低下してきている。そこで平成30年に中心市街地活性化基本計画を策定し、行政及び中心市街地の商業団体等が一体となってまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>当計画では中心市街地活性化基本計画の達成に向けて、市民の居場所となる施設、また市外からの観光客がまちなかを周遊しやすくする設備等を整え、人的交流を生み出すことで中心市街地のにぎわいを再生することを目標としている。</p>																																				
計画の成果目標(定量的指標)	<p>1. 中心市街地で行われるイベントや観光施設等の利用者数138,300人/年(H30)から152,940人/年(R6)に増加</p> <p>2. 中心市街地の拠点施設(新町ビル跡地複合施設・ねこのて)の利用者数を154,000人/年(H30)から171,000人/年(R6)に増加</p> <p>3. 歩行者通行量を4,750人/日(H30)から5,200人/日(R6)に増加</p>																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H30)</th> <th>(R4)</th> <th>(R6末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 中山道まつり等の4つのイベント及び中山道歴史資料館等の4施設への来場者数を調査する。</td> <td>138,378人/年</td> <td>147,900人/年</td> <td>152,900人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 中心市街地の拠点施設(新町ビル跡地開発事業で整備する複合施設及びまちなかステーションねこのて)の利用者数を調査する。</td> <td>154,115人/年</td> <td>165,200人/年</td> <td>171,000人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 区域内8箇所ですべて歩行者数を測定する。</td> <td>4,750人/日</td> <td>5,050人/日</td> <td>5,200人/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H30)	(R4)	(R6末)	1. 中山道まつり等の4つのイベント及び中山道歴史資料館等の4施設への来場者数を調査する。	138,378人/年	147,900人/年	152,900人/年		2. 中心市街地の拠点施設(新町ビル跡地開発事業で整備する複合施設及びまちなかステーションねこのて)の利用者数を調査する。	154,115人/年	165,200人/年	171,000人/年		3. 区域内8箇所ですべて歩行者数を測定する。	4,750人/日	5,050人/日	5,200人/日	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																		
	(H30)	(R4)	(R6末)																																		
1. 中山道まつり等の4つのイベント及び中山道歴史資料館等の4施設への来場者数を調査する。	138,378人/年	147,900人/年	152,900人/年																																		
2. 中心市街地の拠点施設(新町ビル跡地開発事業で整備する複合施設及びまちなかステーションねこのて)の利用者数を調査する。	154,115人/年	165,200人/年	171,000人/年																																		
3. 区域内8箇所ですべて歩行者数を測定する。	4,750人/日	5,050人/日	5,200人/日																																		
全体事業費	合計(A+B+C+D)	3,953百万円	A	3,953百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合(A(提案分)+C)/(A+B+C)	0.0%																									
交付対象事業																																					
A 基幹事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																				
									R2	R3	R4	R5	R6																								
A-1	都市再生	一般	中津川市	直接	中津川市	中津川市中心市街地地区	施行区域 A=66.2ha	中津川市						3,953																							
									合計					3,953																							
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																				
									R2	R3	R4	R5	R6																								
									合計																												
C 効果促進事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																						
									R2	R3	R4	R5	R6																								
									合計																												
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																									
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																						
									R2	R3	R4	R5	R6																								
									合計					0																							
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																									

交付金の執行状況

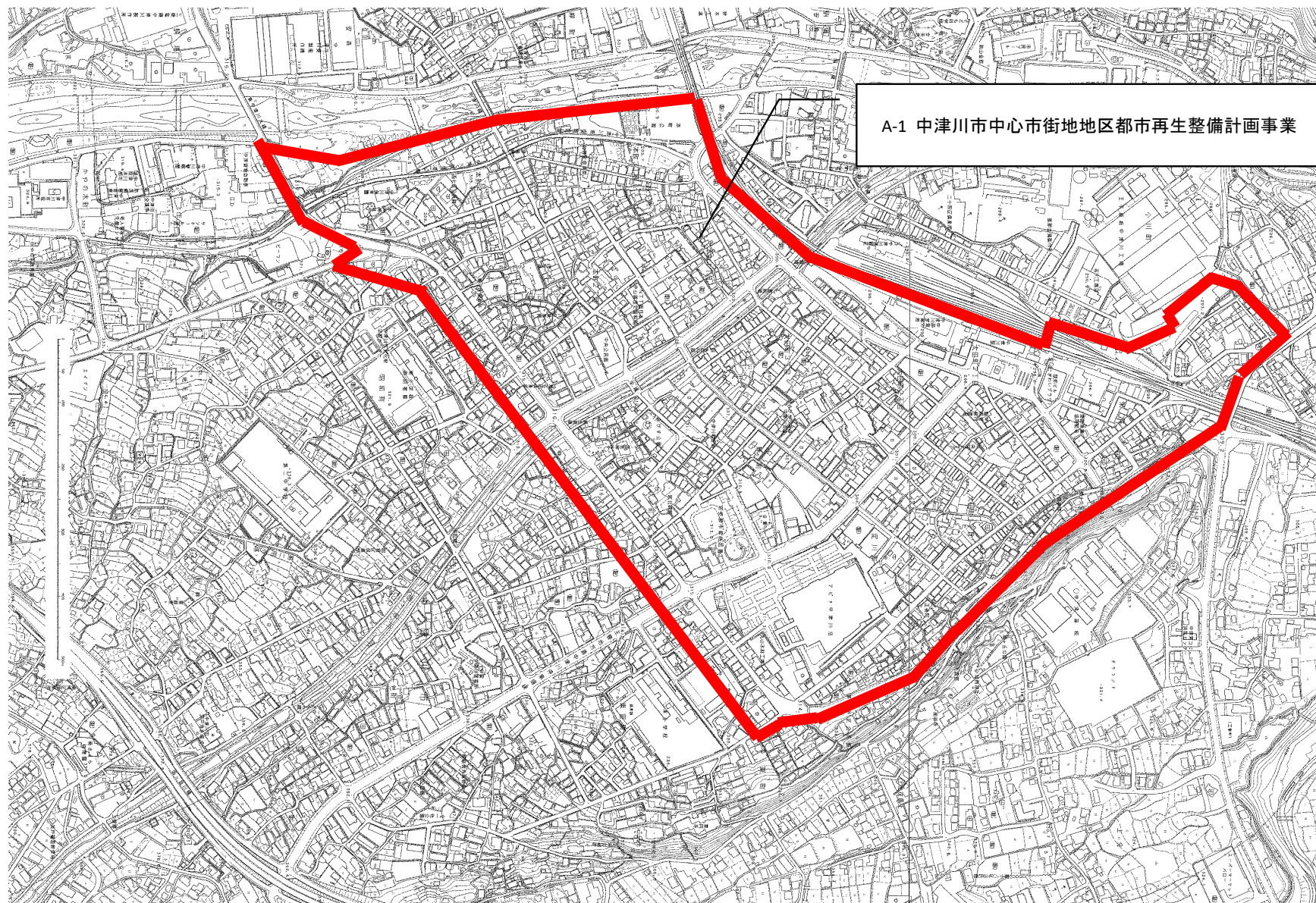
(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	中津川市中心市街地の人的交流によるにぎわい再生計画	交付対象	中津川市
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)		



A-1 中津川市中心市街地地区都市再生整備計画事業

都市再生整備計画

なかつがわしちゆうしんしがいちちく
中津川市中心市街地地区

ぎふけん なかつがわし
岐阜県 中津川市

令和2年4月

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	岐阜県	市町村名	なかつがわし 中津川市	地区名	なかつがわし ちゅうしんしちがわし ちく 中津川市中心市街地地区	面積	66.2 ha
計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度				

目標

- 人々の交流を作り出すことにより、文化的、商業的に発展させ、魅力と活気のあるまちづくり
- 目標1 鉄道、バスが集中する玄関口である中津川駅前から中心市街地内へ人の流れを作り出す
 - 目標2 魅力ある地域資源を活かして地域の価値を高め、観光客が周遊することでにぎわいを取り戻す
 - 目標3 子育てや市民の文化活動をしやすい環境を作り、周辺地域からの流入人口を増加させ、交流促進を図る

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本市では昭和50～53年に駅前再開発事業を行って大型商業施設を誘致し、駅前及び商店街の歩行者が増加し活気が生まれた。平成9～10年には前述の大型商業施設と、商店街内の既存の大型店舗が撤退した結果、駅前及び商店街から客足が遠のいたため、市が駅前にある旧店舗ビルを買い取り、「にぎわいプラザ」として行政機能、観光PR機能、貸し会議室などのサービスを提供し、人々が集まる拠点施設として活用してきた。しかし消費活動の多様化等により商店街を利用する買い物客が減少し続け、同時に空き店舗が増加している。また「にぎわいプラザ」は一定の利用者数があるものの、建設から41年が経過し老朽化した設備では安全で快適な状態を保つのが難しくなっている。

一方近年では中山道馬籠宿が外国人観光客に人気が高く、鉄道で中津川駅まで来てからバスに乗り換えて観光地に向かう多くの欧米人の姿が見られる。令和9年には本市にリニア中央新幹線の岐阜県駅及び中部車両基地が開業する予定であり、周辺市や隣県も含めた広域観光の拠点となる。岐阜県駅-品川駅間が60分、岐阜県駅-名古屋駅間が15分で移動できるメリットは大きく、観光だけでなく、ビジネスの面でもさらに人的交流が活発になることを見込んでいる。

本市は平成30年7月に国により中心市街地活性化基本計画の認定を受けており、魅力と活気あふれる商業のまち、歴史と文化を伝える観光のまち、潤いと生きがいを育む交流のまちとすることを基本方針とし、市民及び各種商業団体等とまちづくりを進めている。

課題

- 駅前で多くの外国人観光客を見かけるが、中心市街地に滞留することなく、単なる乗換えの場として通過していく。外国人向けの観光メニューや、周遊させるための案内表示が必要。
- 歴史的建造物等の観光資源となり得るものはあるが、単に地域内に点在しているだけで観光客に魅力を伝え切れていない。中山道の宿場町という歴史資源を活かしたまちづくりが必要。
- にぎわいプラザ、中央公民館といった公共施設があるが、築40年以上経過して設備の老朽化が著しい。市民が安全で快適に活動できる場が望まれている。
- 歩行者数調査の結果を見ると、歩行者は地域内の特定箇所に集中しており、商店街方面への人の流れが少なく、店舗数は減少傾向である。商店街への歩行者を増やし、経済活力を向上させる必要がある。

将来ビジョン(中長期)

【総合計画】

様々な場所で活躍できる多様な人材が育ち、人の交流が盛んで活気があり、訪れたいまちを目指している。中心市街地エリアは「働く場所があり住み続けられるまち」を実現する場所として位置付けられている。

【都市計画】

多拠点ネットワークによる集約型都市構造を目指し、中心市街地エリアは商業・業務機能の集積を図り、本市の顔として中心的な役割を担う「拠点都市」と位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
特定施設等観光客入込数	人/年	イベント及び観光施設への来場者数	観光資源の魅力が高まり、観光客の周遊性が向上したことを示す指標	138,378	H30	R6
都市福利施設利用者数	人/年	中心市街地の拠点施設の利用者数	流入人口が増加したことを示す指標	154,115	H30	R6
歩行者通行量	人/日	区域内8ヶ所において測定した歩行者数の合計	中心市街地への来場者数増加と、周遊性が向上したことを示す指標	4,750	H30	R6

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・過去に事業が中止となった市有地及び隣接する民間の土地を利用し、子育て支援、地域交流・観光交流センター機能を備えた複合施設を整備し、市民らが集まり活動の拠点とすることでまちににぎわいを創出する。 ・複合施設に近接する市営幼稚園跡地も複合施設の駐車場として整備することで来館者の利便性を高め、利用者の増加を目指す。整備する場所は商店街へのアクセスが容易なため、集まった人々が食事や買い物で中心市街地内にも足を運び、経済活力が向上する。 	新町ビル跡地開発事業(高次都市施設)
<ul style="list-style-type: none"> ・中山道中津川宿としての歴史資産を活かし、主に外国人観光客の周遊性を高める。 	統一案内サイン整備事業(地域生活基盤施設) 駅前広場整備事業(高質空間形成施設)

その他
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会では、商工会議所、まちづくり会社、商店街、自治会長、大学など16団体と市で、中心市街地の活性化策を検討し、実現に向けて努力している。 ・商店街の店舗が加入する商店街連盟は、商店街への集客とにぎわいを創出するため、月に1回「中山道中津川宿六斎市」を、春・秋に「中山道まつり」を開催している。 ・市内外の高校生、大学生が商店街に集まり、まちづくりに関するワークショップを行っている。

都市再生整備計画の区域

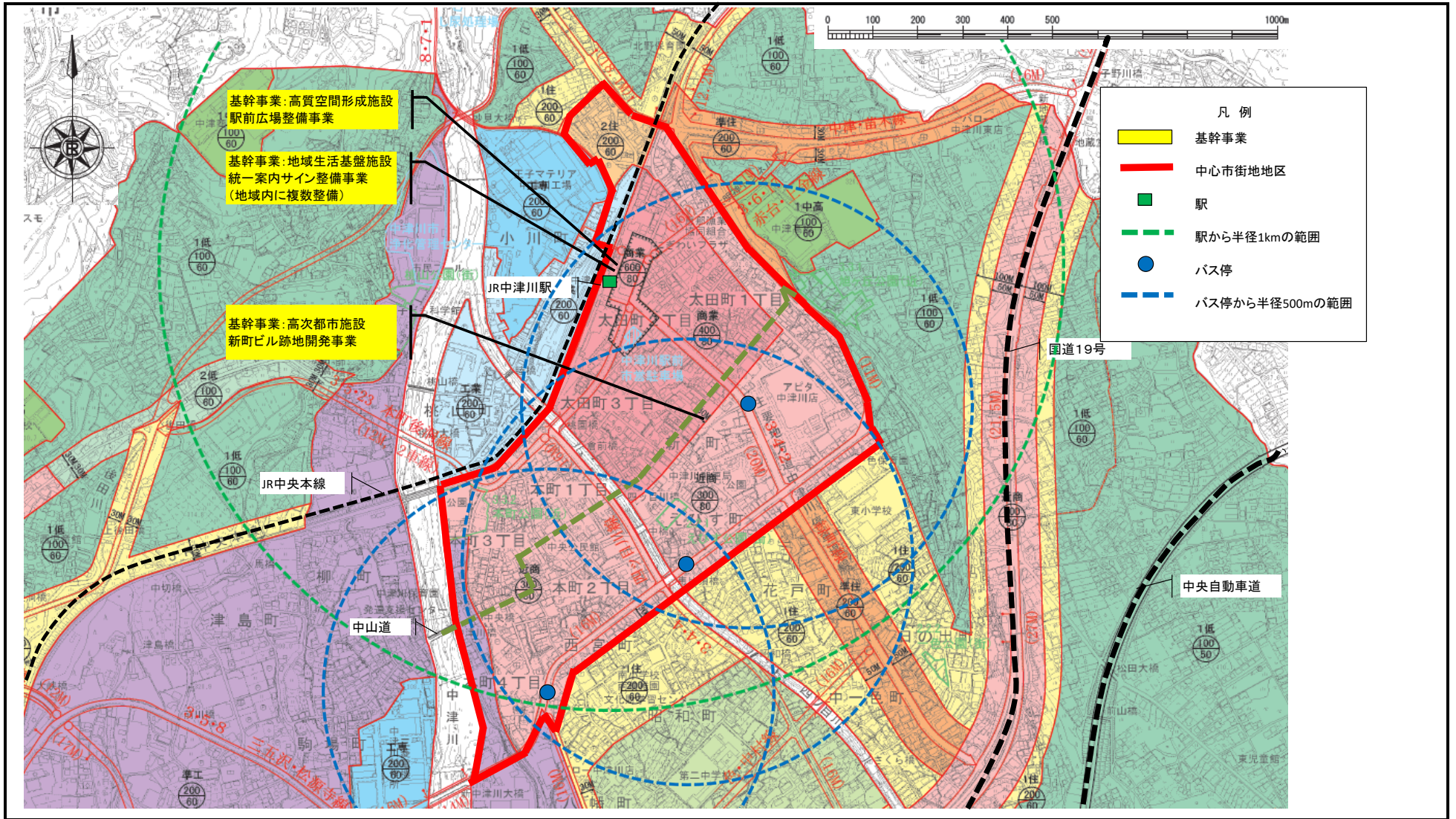
中津川市中心市街地地区(岐阜県中津川市)

面積

66.2 ha

区域

中津川市えびす町、太田町1～3丁目、栄町、昭和町、新町、西宮町、本町1～4丁目、淀川町



中津川市中心市街地地区(岐阜県中津川市) 整備方針概要図

中山道

目標	人々の交流を作り出すことにより、文化的、商業的に発展させ、魅力と活気のあるまちづくり	代表的な指標	特定施設等観光客入込数 (人/年)	138,378 (H30年度)	→	152,900 (R6年度)
	目標1 鉄道、バスが集中する玄関口である中津川駅前から中心市街地内へ人の流れを作り出す		都市福祉施設利用者数 (人/年)	154,115 (H30年度)	→	171,000 (R6年度)
	目標2 魅力ある地域資源を活かして地域の価値を高め、観光客が周遊することでにぎわいを取り戻す		歩行者通行量 (人/日)	4,750 (H30年度)	→	5,200 (R6年度)
	目標3 子育てや市民の文化活動をしやすい環境を作り、周辺地域からの流入人口を増加させ、交流促進を図る					

